



6月の生徒指導の重点事項（スローガン）は「時間厳守」です。志保井が丘憲法の精神の4番目に掲げられている目標です。生徒指導部では、1年間の時季と学校行事などを考慮し、志保井が丘憲法の精神に掲げている10の目標のうち、その月にふさわしい目標を生徒指導の重点事項（スローガン）として、生徒に提示し意識させています。

6月は、期末テストの準備期間であり、中体連大会やコンクール等に向けた部活動も本格的になり、時間の有効な使い方や時間の大切さを意識した生活を心がけさせたいと考えています。

1年生は、入学以来2ヶ月。ようやく制服の折り目もとれ、ふるまいにも中学生らしさが身につきはじめました。教科の学習や1週間のリズム、部活動にも各自のペースを確立できる時期です。ぜひ、中間テストの取り組みの反省などから親子で学習方法や家庭学習をふり返り、今後の学力向上の土台を固めていただきたいと思います。

2年生は、中堅学年。支部中体連総合大会も終わり、残念ながら県北大会に駒を進められなかった部活動は、3年生部員が引退し、2年生を中心に新チームを編成することになります。活動をリードする自覚が求められてきます。また、学習と部活動の両立、6月末に迫った「中学生ドリームアップ事業職場体験活動」の準備と多忙な時期を迎えます。時間を大切に、先を見通し計画的な生活を送ることが求められます。

3年生は、自分と自分の生活を見つめ、これからの生活の一層の充実を期すべき時期です。進路選択も学習生活の問題も、一人ひとりの「自己の課題」として意識を強め、生活全班にわたって自律性を高めることです。それも、学校生活・家庭生活ともに周囲との調和あってこそです。家庭における家族の1員としての自覚と立場から精神面の充実を大切にしていきたいと考えています。

福島支部中体連総合大会選手激励会が行われました

5月29日（金）に、福島支部中体連総合大会に出場する運動部の選手激励会が行われました。音楽部の演奏で各部の選手が体育館に入場し、生徒代表の激励のことばのあと、野球部から順に登壇し、各部の選手紹介と大会に臨む決意表明がありました。決意表明の中で、これまで指導してくれた顧問の先生と支えてくれた家族・保護者への感謝のことばを述べる部長が多く、生徒たちの心の成長を実感することができました。



整列した各部の選手



最後に、応援委員と全校生による各部への応援が行われました。応援委員は、これまでに昼休みを利用して応援の練習を積んでおり、自信に溢れた堂々とした応援でした。

左写真 応援委員による応援

支部中体連総合大会が開催されました

去る6月3日(水)・4日(木)に福島市内の中学校や体育施設を会場に、平成27年度福島支部中体連総合大会が開催されました。本校からは、野球部、サッカー部、男子バスケットボール部、女子バスケットボール部、女子バレーボール部、男子卓球部、女子卓球部の運動部7部が大会に出場しました。私も各部の試合の応援に試合会場をまわりましたが、はつらつとプレーする各部の選手の姿、最後まであきらめずにボールを追う姿に熱いものがこみ上げてきました。試合には勝敗がつきもので、「勝ち」を手にするのができなかった部も多くありました。特に3年生にとっては、それぞれに悔いの残る、あるいはこれまで練習で培ってきた技と精神力を充分発揮できた大会となったのではないかと思います。

大会当日は、それぞれの試合会場に各部の保護者会の皆様が駆けつけ、熱気溢れる応援をしていただきました。各部保護者会の皆様に感謝申し上げます。



各部の大会成績については、すでに保護者の皆様にお知らせしましたが、男子卓球団体、女子卓球団体が共に優勝し、また、卓球個人戦シングルス、ダブルスにおいても男女併せて14選手が県北大会への出場権を得ました。

※ 6月20日(土)に行われるPTA講演会の講師と演題が決まりました。

演題は、「中学生に伝えたい性・いのち」、講師は、桜の聖母短期大学生活科学科教授 西内みなみ先生です。親子で聞きたい内容です。ぜひご参加ください。

※ 学校の教育活動に対するご質問等がありましたらお電話ください。電話562-2325